

いつか故郷で...

～ 市学校給食展講演「世代へつなごう 郷土料理」：井上悦子さんの話から ～

◆先月、日南市教育委員会主催の学校給食展が開催され、ご夫婦で農家民宿を経営されている井上さんのお話を聞くことができました。地産地消へのこだわりや食に対する思いだけでなく、故郷を何とかしようという強い心意気も感じました。◆日南市細田で農家民宿「上の丘」を経営されている井上さん。過疎化によって活気が無くなってきた故郷を「どげんかせんといかん！」と思い立ち、会社をやめて家業の柑橘農家を継ぎ、柑橘農家と体験型「農家民宿」を始められた井上さん。その理由は「日南に人を集めるため」だそうです。また、愛する故郷の良さを知ってもらうために、郷土料理でおもてなしをされているそうです。みかんの収穫体験など、農家の良さもアピールされ、今では仲間と「平成釜」を作り、木炭づくりをスタートさせられたとか・・・◆鶉戸地区にもたくさんの豊かな自然と伝統とよさがあります。子どもは家庭で生まれ、地域で育ちます。生まれ育った地域で、そこに住む「人」、そして「物（史跡）」から先人の知恵や工夫を学び、社会性を培い、地域帰属意識を養いつつ育ちます。◆子どもは地域の宝です。いったんはこの地を離れるかもしれませんが、いつか帰ってきて、井上さんご夫妻のように故郷を活性化させる、そんなたくましい子どもに育つことを願っています。

新春子どもの声を聴く会



◆新日南市が誕生し、第1回「新春子どもの声を聴く会」が開催され、市内の小学校・中学校の代表者が自分の夢や意見等を発表しました。◆本校からは、日高絵美梨さん(6年生)が、「いじめから学

ぶこと」と題し、自身の体験を交え「いじめをしたところで何もない、ただ相手を傷つけ、自分の心まで傷つけている。そして、周りの人も見て見ぬふりをするのでなく、一言声をかけて欲しい。」という呼びかけとともに、将来は学校の先生になり、いじめが少しでもなくなるようにしたいという決意を述べました。◆将来の目標を持つことはとても大切なことです。経験したことを生かし、努力することを忘れず「初志貫徹」の精神で自分の夢を叶えてほしいと思います。

日南市学校給食展

～ 伝えたい日南の味 育てよう元気な子ども ～



◆全国学校給食感謝週間にちなんで、市教委主催の第1回「日南市学校給食展」が上記のテーマにそって開催されました。◆講演会、児童生徒の作品展示(習字や、絵画、標語など)、

食育コーナー、給食試食コーナー、親子料理教室、給食調理員コーナーに分かれて行われました。◆「親子料理教室」には本校から小室さん親子が参加され、地元の食材を使ったおし寿司、うみっこ節サラダ、日南っ子汁、さつまいもの茶巾しぼりづくりに挑戦されました。

給食感謝集会

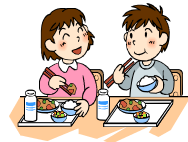
◆学校では、給食感謝集会を開き、日頃お世話になっている学校栄養士さんや給食調理員さんたちに対し、感謝の気持ち

を伝えました。◆今や「食育」は、法律(食育基本法)で定められるほど重要な課題のひとつになっています。◆この法律では、第3条に「食に関する感謝の念と理解」、第4条「食育推進運動の展開」、第5条「子どもの食育における保護者、教育者等の役割」第6条「食に関する体験活動と食育推進活動の実践」、第7条「伝統的な食文化、環境と調和した生産等への配慮・・・食料自給率の向上への貢献」(以下省略)等が定めてあります。



～「腹」で→「舌」で→そして「頭」で食べ始めた～

◆戦後間もない頃までは食糧難。何でも良いから「腹」いっぱい食べるのが願いでした。経済の発展とともに、国が豊かになり、「舌」や「目」で食物を選び、好きな物を好きなだけ食べる時代となり、そのつけとして「成人病」の多発。あわてて、現代は「頭」で食べる時代となってきました。これを機会に、望ましい食習慣、規則正しい生活習慣、そして適度な運動に目を向け、実践したいものですね。



2月の主な行事

日(曜)	主な学校行事
1(月)	安全点検
2(火)	全校朝会、クラブ⑩
3(水)	4時間授業 ※午後は先生たちの研究会
5(金)	委員会活動
7(日)	学習発表会、子どもの声を聴き励ます会
8(月)	4時間授業、 ※午後は先生たちの研究会
9(火)	クラブ⑪
10(水)	振替休日
11(木)	● 建国記念の日
13(土)	※日南市PTA研究大会
15(月)	中学校入学説明会(6年)
17(水)	新入児保護者説明会
22(月)	避難訓練(火災)
26(金)	委員会活動
備考	※学校巡回指導員の巡回日 1(月)、12(金)、16(火)、22(月)